



学校法人 志賀学園  
平第一幼稚園  
平成 30 年 5 月 1 日

さわやかな風の中、こいのぼりが元気よく大空を泳ぎ始めました。

先日の保育参観並びに父母の会総会には、お忙しいところ御出席下さいましてありがとうございました。

新学期が始まり 3 週間が経ちました。

泣き声の大合唱だったばら組の子ども達ですがだんだん落ち着いてきて泣き声も少しずつ聞かれなくなりました。ただ、幼稚園生活の中で、少しずつ自分を出せるようになってきた反面、友だち間で自分の思いが伝わらず、ひっかいてしまったり、押してしまうなどのトラブルが生じることもあります。「ちょっとだけ貸して!」「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉が上手くつかえるように寄り添って参りたいと思います。

もも組の子ども達は、まだ泣いて登園する子が多いのですが、目に涙をためながらも「おはようございます」の挨拶に頭をさげたり、先生が差し出す手に泣きながらも自ら手を伸ばしてきたりと少しずつ心の動きが見られるようになってきました。

すみれ組の子ども達は、進級したことで戸惑いや不安な様子が見られましたが、新しいお友だちの名前を覚え、お部屋で仲良く遊んだり園庭の遊具で活発に遊ぶ姿が見られるようになってきました。おままごとやお店屋さんごっこでは、ピザ作りに無中になりトッピングを工夫したり、「ピザはいつできますか?」「何味作ろうか?」と会話も弾みました。

また、保育参観では、親子で粘土あそびに取り組みましたが、子ども達、一人ひとりの表情は、生き生きとそして、笑顔がたくさん見られました。

さくら組の子どもたちは、「ハッピーイースター」の絵本の読み聞かせから、イースターのたまご作りに取り組んだり、折り紙で作ったたまごを外に探しにいたり絵本の一場面を遊びにつなげたりとアイデア豊富でお友だちと協力し合う姿が見られました。

園生活が慣れてきたところで大型連休に入ります。

毎年、連休明けの子ども達は、甘えん坊や泣き虫さんが多くなるなど 4 月のはじめの頃に戻ってしまうケースも少なくありません。

でも、子ども達はすぐに園の感覚を取り戻すことができますのでご安心下さい。

私たち職員も両手を広げ、笑顔で迎えたいと思います。

元気なようでも知らず知らずのうちに疲れをためている頃ですので、『早寝・早起き・朝ごはん』をご家庭でも心がけてゆっくりにお過ごし下さい。

吉竹 芳江